

それぞれの旅立ち

多くのことを学んだ岩美中学校から

121名の若鷺夢に向かって大空へ！

岩美中学校卒業証書授与式



3月10日（火）、岩美中学校で、第51回卒業証書授与式が行われました。築50年を誇る、現在の岩美中学校の校舎で過ごした、最後の卒業生となります。

戸田倫弘校長先生が、「若鷺（岩美中の校章）は、今のあなた達の姿です。志を胸に、母校岩美中を飛び立ってください。」と卒業生に祝福の言葉を贈りました。

卒業生代表として中村佳那美さんが、先生やご両親への感謝の気持ち、岩美中での思い出等をあいさつ。最後に卒業生全員による合唱が行われ、思い出いっぱいの学び舎を後にしました。

この日で、9年間の義務教育期間も終了。121名の卒業生は、岩美中学校で蓄えた力をばねにして、夢と希望を胸にいだき、それぞれの道を歩んでゆきます。

春—それは、旅立ちの季節。今まで、多くの愛情を受け、守られていた世界から、自分で切り開いていく世界への旅立ち。そんな若者たちの旅立ちが、岩美町でありました。

5,000匹の稚魚 荒波の大海へ！

サケの稚魚放流



岩美南小学校児童が、「きつともどるよふるさに」を歌って、サケの旅立ちを応援。

3月15日（日）、岩常橋下流の河川敷で、サケの稚魚の放流が、行われました。今年で6回目となります。

毎年この時期に、『小田川・荒金川に魚を蘇らせる会』が主催して、町内各小学校等によびかけ、『さけの卵をふ化させ、放流する事業』を行っています。

手塩にかけて育てた7cm～10cmの稚魚を、ビニール袋に入れて、町内外から約150名が、岩常河川敷に集合しました。

「サケがまたここに帰ってくる4年間の間に、より川がきれいになるように、活動していきたい。」と西浦品義会長が挨拶した後、再会を願いながら、参加者全員で、約5,000匹の稚魚を放流しました。

サケは、これから4年かけて、アラスカなどの荒波を乗り越えながら、またこの小田川に戻ってくると言われています。昨年も11月にサケが遡上するなど、成果がありました。4年後の再会が楽しみです。



世界も広がり、わくわくすることもある一方で、時には乗り越えなければ、ならない試練もあることでしょう。それは、人間もサケも同じ。ひとまわり大きくなった姿に再会できることを楽しみにしながら、みんなが若い力を応援しましょう。

町制施行55周年
記念

「わがまちの宝」 写真コンテストの実施について



あなたの思う「わがまちの宝」は何ですか？
町では、町制施行55周年記念事業として、岩美町の魅力ある資源・地域のよさを写真で表現していただくコンテストを開催します。多くのみなさんのご応募をお待ちしています。

【題 材】 皆さんの思う岩美町の宝

【応募作品】

- (1) 自作未発表の作品で、おおむね2年以内に撮影したもの。
(同一作品の他のコンテストとの二重応募及びそれとまぎらわしい作品の応募は御遠慮ください。)
- (2) 一人2点までの応募とし、組写真・合成写真は不可とします。 など

【応募資格】 一切問いません。

【募集期間】 4月20日(月)から9月30日(水)：(必着)

【入 賞】 最優秀賞：1点、優 秀 賞：3点など計19点
(各賞には賞状及び3千円～5万円相当の副賞を贈呈)

* 詳細につきましては、実施要領（自立推進課窓口、町HP）をご確認ください。

問い合わせ先

自立推進課 73-1412
〒681-8501 岩美町大字浦富675-1

今月の納税です

軽自動車税

納付期限 4月30日(木)

編集後記

桜の花がきれいな、気持ちのよい季節となりました。よい天気の日には、ご近所、ご家族が集まって、町内のお花見に出かけてみるのは、いかがでしょう。おすすめとしては、長郷の桜並木です。町営バス小田線に乗ると、ゆったりと眺められます。小田停留所で降りて、いこいの里まで歩けば、(少し急な坂道ですが、健康づくりには最適コースです。)その広場にも、桜の花がきれいに咲いています。お弁当を持って、岩美の魅力再発見に出かけてみませんか。 なか